

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                 |            |           |
|---------|-----------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 2172101095      |            |           |
| 法人名     | 株式会社 共寿         |            |           |
| 事業所名    | グループホーム江並「福寿苑」  |            |           |
| 所在地     | 岐阜県大垣市外洲4丁目97番地 |            |           |
| 自己評価作成日 | 平成25年1月10日      | 評価結果市町村受理日 | 平成25年4月1日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kai.gokensaku.jp/21/i/ndex.php?acti_on_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;ji_gyosyoCd=2172101095-002P.efCd=21&amp;Ver.si.onCd=022">http://www.kai.gokensaku.jp/21/i/ndex.php?acti_on_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;ji_gyosyoCd=2172101095-002P.efCd=21&amp;Ver.si.onCd=022</a> |
|----------|---|

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                     |  |  |
|-------|---------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 旅人とたいようの会 |  |  |
| 所在地   | 岐阜県大垣市伝馬町110番地      |  |  |
| 訪問調査日 | 平成25年2月26日          |  |  |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様、ご家族様共に安心して過して頂ける終身対応型の施設です。最期まで「できる力で生き生きと！」を理念として、スタッフ一同支援させて頂いております。看護体制も確立し、一般、特殊浴も設置し、重度の方も受け入れ可能な施設です。現在は介護度の高い方が入所されており、活動に制限がありますが、毎月音楽療法を開設し、懐かしい歌などを一緒に唄いながら、楽しいひと時を過ごして頂いています。また、近隣の喫茶店やマクドナルドへ出向き、新しいおやつ等に挑戦されたり、保育園や自治会の行事に参加させて頂いたり、さらに、運営推進会議に行政、消防署、自治会、中学校、保育園、民生委員、ご家族様がお出席された際には、施設のお茶会などイベントに参加を頂き、地域や家庭への信頼関係を、さらに、築けるように大切に行きたいと考えています。

職員は、利用者に笑顔で声掛けをし、側に寄り添いながら、できる力を活かして生活していただくため時間がかかっても見守り、過剰な介護を行わないことを心がけている。すべての家族に、運営推進会議の議事録や利用者の写真と利用者の日頃の様子や職員の手書きのメッセージを書いた江並新聞を郵送し、毎年アンケートを取っている。また、訪問時にはお茶を出し、必ず声を掛けて、話しやすい雰囲気を作り、信頼関係を築くことを第一に考えている。意見や要望にはすぐに対応し、改善するよう努力をしている。介護計画は利用者や家族の代弁書であると考え、より良い介護計画となるように全職員で何度も話し合って作成している。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印                              | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |
|----|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) |    |   |

自己評価および外部評価結果 二階

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                      | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|-------------------------|-----|---|--|--|-------------------|
|                         |     |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I.理念I:2172101095</b> |     |   |  |  |                   |
| 1                       | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 運営の理念、職員の心得を制定している。月1度の職員会議で、理念、心得を唱和すると共に、理念を掘り下げて職員間で話し合い、具体的なケアについて共有及び意識の統一を図っている。   | 月1回の職員会議で理念を話し合い、意識の統一を図っている。職員は利用者に笑顔で積極的に声掛けし、過剰な介護をせず、時間はかかってもできる力を活かして生活できるよう日々、実践に取り組んでいる。              |                   |
| 2                       | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 保育園、自治会等の行事に積極的に参加をしている。また、近隣の喫茶店やマクドナルドへ出掛け、新しい飲み物やお菓子に挑戦している。ホームでは毎月音楽療法の先生と一緒に誕生会を兼ねて懐メロや、季節の歌を通じて盛り上がったひと時を楽しんでいる。                             | 利用者と共に、近くの神社の散歩中に挨拶を交わしている。また、保育園の運動会や自治会の夏祭りに参加し、近隣の飲食店に出かけている。老人クラブの人たちに、事業所への訪問を呼びかけ日常的な交流を図っている。         |                   |
| 3                       |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 地域の中高生徒の就労体験を受け入れ、児童やその家族に向けて認知症対策の情報を提供している。また運営推進会議に地元の自治会長、民生委員等地域のご来賓やご家族に活動状況の報告と共に認知症の理解と広報活動をしている。  |  |                   |
| 4                       | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 行政、地域包括支援センター、警察交番所、学校、保育園、及び自治会長、民生委員、ご家族に参加を頂き、隔月に開催をしている。活動状況を率直に報告し、それにより、ご出席頂いた全員の方からご意見やご指摘を頂いている。指摘事項によっては次回に改善した内容を報告している                  | 事故報告なども含め、事業所の実情を率直に報告している。参加者全員が発言し、意見交換をしている。議事録は全利用者の家族に郵送している。隣接する、グループホームと合同の開催であるが、会議の後半は別々で話し合いをしている。 |                   |
| 5                       | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 運営推進会議に市の高齢介護課、地域包括支援センター、消防署等に出席して頂き、各方面からの提言や助言を受けている。また、大垣市ケアマネ情報交換会にも積極的に参加し意見交換等を行っている。さらに認定更新の機会に市へ利用者の暮らしぶり等を伝え連携を深めている。                    | 運営推進会議時に市の情報や助言を得ている。事故報告や認定の更新時に市町村に出向く際は、必ず窓口に声を掛けている。また、日頃は、頻りに電話で連絡を取り、市担当者と協力関係を築いている。                  |                   |
| 6                       | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束の認識や共有の勉強会を毎月の職員会議でテーマを設け実施している。玄関は国道に面している立地条件から外からは自動オープンに内側からは番号ロックしている。外出希望の強い人には出来る限り、外気に触れて頂いたり、散歩にお誘いしたりして、安全面に配慮しながら自由な暮らしを支えるようにしている。 | 玄関の施錠については、立地条件や警察からの要望で鍵をかけている。全職員は職員会議や研修で身体拘束の内容や弊害を理解し、外出希望者には声掛けや散歩などの対応をしている。                          |                   |
| 7                       |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 勉強会を実施し、見過ごされてしまいそうな虐待についても話し合い職員の共通認識を高めている。福祉相談センター主催の研修会にもなるべく全員が行けるようにしている。入浴時には身体の観察をすることで 見過ごすことのないように努めている                                  |  |                   |

グループホーム江並「福寿苑」

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 福祉相談センターの研修会に出来るだけ多くの職員が参加できるようにしている。また 独居で子供さんがおられない、ご遠方の兄妹の方にもご利用者様の相談に対応している   |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時には事業所のケアに対する姿勢を説明し了承を得ている。重度化や見取りについての対応方針、医療連携体制や料金体制、また契約解除に至る対応等、そしてその後の支援にも納得が得られるようお話ししている。                                 |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | ご家族には手紙、江並新聞、訪問時、運営推進会議等で常に語りかけ、何でも言って貰えるような雰囲気づくりに留意している。意見、要望等は職員会議で話し合い反映している。また、独自のアンケートを毎年実施し、その結果についても前向きに受け止め職員全員で活かす様にしている。 | 毎月、江並新聞に利用者個々の写真や最近の様子を載せ家族に送ったり、訪問時に、お茶を出し、声を掛け話しやすい雰囲気を作っている。薬の管理に対する意見が出された。服薬状況がすぐに分かるように薬保管箱を工夫し、職員二人体制でチェックする仕組みを作った。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 職員会議や、朝のミーティング、個別面談で意見交換を行う機会を多くしている。日頃からコミュニケーションを図るよう心掛け、問いかけたり、聞き出したりするようにしている。特にご利用者へのダメージを最小にするための配慮をしている。                     | 管理者は職員会議や日々の業務の合間に意見を聞いている。乾燥機や備品の買い揃え、消毒の仕方、給料や業務規則など色々な意見が出た。主婦である職員には、夕食時に勤務が重ならないよう配慮するなど働きやすい環境を作った。                   |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員の日頃の体調や家庭環境に充分配慮し、働きやすい勤務状況を創設している。そんな中で職員のモチベーションが保たれるよう研修機会を全員に案内し、学べる環境づくりに努めている。  |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 年間の研修計画を作成し、一人1研修を基本に個々の状況に応じた広範囲な研修機会を作り出している。復命書の提出と共に、職員会議で伝達講習も実施している。また研修報告書を全職員が閲覧できるようにしている。                                 |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 会社内の他の施設の全体職員の講習会や交流会を積極的に行い、グループとしての介護サービスの質の向上に努めている。さらに他の施設への実践交流会を行い、交流を通じて一緒に学んだり親睦を深めたりするようにしている。                             |   |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |  |
|----------------------------|-----|--|--|---|--|
|                            |     |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |   |  |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 事前の面談などで、ご本人やご家族から、これまでの生活状況や今後の生活に対する思いを充分にお聞きをし、安心と安全に暮らして頂ける環境になるよう努めている。   |   |  |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | これまでのご家族の苦勞や今までのサービスの利用状況、経緯について、ゆっくり話を聞くようにしている。話を聞く事で、ご家族が求めている事を理解し、事業所としてどのような対応が出来るか事前に話し合いをしている。                           |   |  |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 事前相談等でご本人、ご家族の思いや状況を確認し、改善に向けた支援の提案及び相談を繰り返し、信頼関係を得るよう努力している。その中で何が必要かを見極めながら事業所として出来る限りの対応に努めている。                               |   |  |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 職員は人生の先輩であるご利用者に色々な事を学ばせて頂いたり、励ましを頂いたりして、働く者として元気や意欲に繋がっている。お互いが協働しながら穏やかな生活ができるように場面づくりや声掛けをしている。                               |   |  |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 日々の状況をご家族に繰り返しお話し、情報共有に努め、ご本人と一緒に支えるためにご家族と同じような思いで支援しながら信頼関係をより深く築けるようにしている。  |   |  |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | ご利用者様が長い間培ってこられた暮らし方や、こだわりや大切なもの、人間関係を何時までも保ち続けられるよう、また、季節ごとのイベントや運営推進会議後のご家族を含めた食事会やお茶会等の機会を多く持ち、多くの参加を呼びかけ継続的な交流が出来るよう働きかけている。 | 馴染みの人の訪問や家族の協力を得て、馴染みの場所へ出かけることもあったが、最近あまりない。気分が和らぐ入浴の際に話しかけ昔の事を聞きだす努力をしているが、電話を掛けたり、手紙を出したりすることも少ない。 | 家族の協力を得たり、電話・手紙などを使ったりして、利用者が、大切にしてきた人や場所との関係が途切れないような支援を期待する。 |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 個別に話を聞いたり、相談に乗ったり、みんなで楽しく過ごす時間の場面づくりをするなど、利用者同士の関係がうまくいくよう良き調整役になれるよう、職員間で情報共有し注意深く見守るようにしている。                                   |   |  |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | これまで施設で過ごされた、ご利用者様の生活リズムの情報を詳細に提供し、他施設や病院等へ転院されても、混乱が軽減できるようにきめ細かい連携を心掛けている。                                     |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日々の関わりの中で言動、行動、表情などから、その真意を押し量ったり、それと無く確認するようになっている。意思疎通が困難な方には、ご家族に情報を得るようにしている。                                | 眉間にしわを寄せたり、落ち着かない様子の時は側に行き話しかけるなど表情や言動から希望や意向を把握している。また、家族から得た情報は、朝の引継ぎや業務日誌に記入して、全員で情報を共有している。  |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご本人の今までを知るために、ご家族や連携施設に協力して頂き、情報把握に努めている。必要な時はご家族の了解を得て、面会に来られる知人、友人にも情報収集を行っている                                 |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | ひとり一人の生活リズムを理解すると共に、行動や小さな動作から、ご本人の全体像を把握している。出来ない事より出来る喜びを共有できるような働きかけに努めている。                                   |  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人とご家族には日頃の関わりの中で、思いや意見を聞きケアに反映している。また、月一回の職員会議で活発な意見交換やモニタリング、カンファレンスを行う、そのケアプランはご本人ご家族の思いの代弁書と捉え介護計画に盛り込んでいる。 | 全職員は、日々の関わりの中での気づきを、毎月のモニタリングやカンファレンスで、意見交換をし、介護計画を見直している。利用者、家族の希望やかかりつけ医より指示がある場合は介護計画に反映している。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個別ファイルに食事、水分量、排泄等身体的状況及び日々の暮らしの様子やエピソード等を記録し、職員間の情報共有を徹底すると共に、介護計画を見直す事で評価し、次のケアにつなげている。                         |  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | ご本人やご家族の状況に応じて、通院の送迎、衣類や介護用品の購入、また行政等への申請に関する助言など、個々のニーズに柔軟に対応し、満足度を高めるように努めている。                                 |  |                   |

グループホーム江並「福寿苑」

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | ご利用者が安心して地域で暮らしを続けられるよう、市役所、警察所交番、消防署、福祉施設、小学校、保育園、自治会等、地域の資源を活用できるよう運営推進会議等を通じて意見交換する機会を設けている。                      |   |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 事業所のかかりつけ医のほか、利用前からのかかりつけ医で受診できるよう、また基本的には家族同行の受診となっているが、不可能の場合は職員がご家族の同意を得て代行している。その場合診療の様子や変化をご家族に必ず報告している。        | 入居前からのかかりつけ医の受診を勧めているが、事業所の協力医に変わる利用者が多い。緊急時や家族の依頼で職員が同行した時は、受診が終わるまで付き添い、必ず家族に報告している。                |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 看護職員を配置しており、常にご利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。看護職員のいない時間は介護職員が小さな変化も見逃さず、看護職員と確実な連携の基、適切な医療やケアを受けられるようにしている。         |   |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院によるダメージを極力防ぐため、状況に応じて看護職員が見舞いに行き医師と話し、事業所内での対応可能な段階でなるべく早く退院出来るようアプローチしている。ご家族とも情報交換し、速やかな退院支援に結び付けている。            |   |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | ご本人やご家族の意向を早い段階から話し合い、看取り介護に関する指針のもと、ご家族、医師、看護師との連携を密にしながら、状態の変化があるごとに、ご家族の気持ちの変化やご本人の思いに注意を払いながら、チームで支援に繋げるようにしている。 | 事業所の指針を示しながら、利用者や家族に早い段階から説明している。医師、看護師、介護職員、家族と連携しながら支援している。勉強会では、職員にケアの方法や、他の利用者への配慮の仕方などの指導を行っている。 |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 職員の緊急時の対応についてのマニュアル、応急措置や救急車が来るまでに準備する事等についての勉強会を実施し、落ち着いて対応できるよう周知徹底を図っている。   |   |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 消防計画により、年に二回、昼間と夜間を想定した避難訓練、消火訓練、非常召集訓練を大垣消防署の監修のもと実施している。また、運営推進会議等で、ご家族、自治会にいざとなった時に直に駆けつけて頂くような協力体制の話し合いを進めている。   | 昼夜間を想定した訓練を行い、訓練後は全職員で課題を話し合っている。連絡網を再確認し、自治会への働きかけをより積極的に行い、地域との協力体制を築く努力をしている。                      |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |  |
|----------------------------------|------|--|---|--|--|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |  |  |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 人生の先輩であるという共通認識の基、ご利用者の誇りや大切にされていること、プライバシーを損ねない対応についてなど、職員会議やミーティングの折に徹底を図っている。                                    | ノックして入室する、トイレはカーテンだけでなくドアも閉める、一人ひとりの個性に配慮した声掛けをするなど職員会議で話し合っている。しかし、居室ドアは一部透明ガラスで、内部が丸見えの部屋があり、プライバシーを保てない状態である。 | 利用者が要求すれば、カーテンや紙で目隠しをしているが、要求の有無とは関係なく、プライバシーが保てる居室づくりを望む。 |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | ご利用者に合わせて声を掛け、意思表示が困難な方にはメモを使ったり、些細な事でも表情から気持ちを汲み取るように努力をしている。押しつけることなく複数の選択肢を提案し、ご利用者が自分で決める場面を作っている。              |  |  |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な一日は決まっているが、一人ひとりの体調に配慮しながら、自分のペースで生活出来るよう支援している。また、お勝手の後片付けなどを手伝って頂いたり、さらに、ご利用者のリクエストで近くの喫茶店や散歩などにも対応している。      |  |  |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 個々の好みや季節に合ったおしゃれを楽しんでいただけるよう、ご家族に衣類の補充をお願いしている。ご本人のご希望に添えるよう意向を聞きながら、職員が髪のカットをし、その人らしさを保てるよう支援している。                 |  |  |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 旬の食材や新鮮なものを大垣公設市場より直接採り入れ、個々の好みや苦手なものを踏まえたメニューを工夫し、食事を楽しんで頂けるよう献立づくりをしている。また、後片付けなど体調に合ったお仕事を職員と会話を楽しみながら手伝って頂いている。 | その日の食材を見て、利用者の好みを考えながら献立を作り、切り方や柔らかさを一人ひとりに合わせた調理をしている。おやつに、たこ焼きやホットケーキを利用者と一緒に作り、楽しい時間となるよう工夫している。              |  |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 食事、水分の摂取量、栄養のバランスについて確認し、捕食が必要な方には、その時々に合わせてお出ししている。食事形態にも考慮し、職員の手作りの食事を召し上がって頂くよう努めている。                            |  |  |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 食事やおやつ後に歯磨きやうがい等の口腔ケアを行っている。ご自分で出来る方は必要品の準備と声掛けを、困難な方には義歯洗浄や口腔ケア用スポンジを使用して清潔保持ができるようにしている。                          |  |  |



グループホーム江並「福寿苑」

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 個々の排泄パターン、排泄状況を把握し、小さなサインでも見逃さないようにし、昼間はなるべくトイレで排泄出来るよう支援している。その方へ合ったオムツやパットを選択し使用して頂いている。夜間のオムツ交換は21時0分3時に行っている。                          | 落ち着かない様子や下腹部を触るようなそぶりがある時など、一人ひとりの状態や排泄パターンを把握しトイレに誘導している。重度の人も立つことができれば、二人がかりで介助し、トイレで排泄できるよう支援している。 |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 排泄状況、活動状況、摂取状況を把握し少しでも自然な排便があるように働きかけている。便秘の方には牛乳やヨーグルト等で十分な水分補給と食物繊維の多く含まれている物を食べて頂くよう工夫している。   |   |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | ご本人のその日の気分や体調に合わせて入浴にお誘いしている。入浴が職員とのコミュニケーションの場となるよう、穏やかな雰囲気での入浴して頂くよう心掛けている。また、入浴を拒む人には、声掛けや対応の工夫などチームプレイによって一人ひとりに合った入浴支援をしている。          | 入浴順や湯温など一人ひとりに合わせた配慮をし、歌を歌ったり、会話したりして楽しんでいる。入浴を拒む人には、声掛けをする方法やタイミング、職員を交代するなどして、気持ちよく入浴できるよう支援している。   |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 日中と活動のバランスに気をつけ、ご本人のタイミングで安心して就寝できるようチームで配慮している。希望があれば好みの寝具を持って来て頂き安眠に繋げている。   |   |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 内服している薬剤について職員が周知するよう内服薬の説明書を掲示している。また薬剤の変更等があった時はミーティング及び申し送り書に記載し、誤薬のないよう周知徹底を図っている。   |   |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 一人ひとり利用者様に合わせて 日常生活の中で洗濯物をたたんで頂いたり、食事の後片付けを手伝って頂いたり、出来る事を見つけ 本人様の出来る力を発揮できるように 声掛け 参加して頂くようにしている   |   |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天気やご本人の気分希望に応じて、季節を肌で感じてもらえるよう、また、心身の活性につながるよう、近くの喫茶店やマクドナルド行き、珍しい飲み物や食べ物に挑戦して頂いている。さらに、保育園の運動会や地元神社の夏祭りなどの招待によって多くの皆さんが遊びに行けるようにサポートしている。 | 天気の良い日は、近くの神社に散歩し、喫茶店やハンバーガーショップに出かけている。皆で花見や運動会見学に行き、夏祭りでは金魚すくいなどをして、季節ごとの外出を楽しんでいる。                 |                   |



グループホーム江並「福寿苑」

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|--|---|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 金銭の所持は、色々混乱を招くことがあるため希望があれば買い物と一緒に出かけたりして事業所内で管理させて頂きご家族にも了承していただいている。  |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | ご家族や友人に電話しやすい雰囲気づくりや電話を架けるお手伝いをしている。また、電話される時は他の利用者に会話が聞こえないように場所等に配慮している。  |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関やリビングに生活感や季節感を取り入れるようにしている。リビングには畳の場所やソファを配置し、ご利用様が快適に過ごして頂けるような環境づくりに心掛けている。居室には家具の配置や飾り付けなどは、ご利用様と一緒に考えて自分が住んでる家だという意識を高めてもらうようにしている。 | 天窓のある居間は、すだれやカーテンで陽射しを調節できるようにし、加湿器を置くなどしている。水槽には金魚が泳ぎ癒しとなっている。折り紙で作った雛段飾りは、季節感があり、過度に作品を並べることはなく、家庭的な空間づくりをしている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | リビング内に2~3人掛けのソファを配置し、一人でゆったりして頂いたり、仲のよい利用者同士でくつろげるスペースに配慮している。大型加湿器を導入し、空調管理にも配慮している。   |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | ご利用者の好みや馴染みのものを自宅より持参していただき本人様の意見を取り入れ生活スタイルに合わせて配置出来るようにしている。また、職員が居室に入室するときはノック及び声掛けをするようにしてプライバシーを大切に心掛けている                            | 整理棚、時計、仏像、長寿の祝いの表彰状、花などが置かれている。おむつが入った箱に、きれいな紙を貼って、おむつとは分からないよう心遣いがあり、居心地良く過ごせるようにしている。                           |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 施設内は利用者様が出来る限りご自分で移動できるように環境整備に心がけ隣のユニットにも自由に行き来できるように見守っている  |   |                   |

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                 |            |           |
|---------|-----------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 2172101095      |            |           |
| 法人名     | 株式会社 共寿         |            |           |
| 事業所名    | グループホーム江並「福寿苑」  |            |           |
| 所在地     | 岐阜県大垣市外淵4丁目97番地 |            |           |
| 自己評価作成日 | 平成25年1月10日      | 評価結果市町村受理日 | 平成25年4月1日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kai.gokensaku.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detai_1_2012_022_kani=true&amp;ji_gyosyoCd=2172101095-00&amp;Pr ef Cd=21&amp;Versi onCd=022">http://www.kai.gokensaku.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detai_1_2012_022_kani=true&amp;ji_gyosyoCd=2172101095-00&amp;Pr ef Cd=21&amp;Versi onCd=022</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                     |  |  |
|-------|---------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 旅人とたいようの会 |  |  |
| 所在地   | 岐阜県大垣市伝馬町110番地      |  |  |
| 訪問調査日 | 平成25年2月26日          |  |  |

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員は、活き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている<br>(参考項目:30,31)         | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |   |                       |   |

自己評価および外部評価結果 三階

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|--------------------|-----|---|--|------|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |      |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 運営の理念、職員の心得を制定している。月1度の職員会議で、理念、心得を唱和すると共に、理念を掘り下げて職員間で話し合い、具体的なケアについて共有及び意識の統一を図っている。   |      |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 保育園、自治会等の行事に積極的に参加をしている。また、近隣の喫茶店やマクドナルドへ出掛け、新しい飲み物やお菓子に挑戦して頂いている。ホームでは毎月音楽療法の先生と一緒に誕生会を兼ねて懐メロや、季節の歌を通じて盛り上がったひと時を楽しんで頂いている。                       |      |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 地域の中高生徒の就労体験を受け入れ、児童やその家族に向けて認知症対策の情報を提供している。また運営推進会議に地元の自治会長、民生委員等地域のご来賓やご家族に活動状況の報告と共に認知症の理解と広報活動をしている。  |      |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 行政、地域包括支援センター、警察交番所、学校、保育園、及び自治会長、民生委員、ご家族に参加を頂き、隔月に開催をしている。活動状況を率直に報告し、それにより、ご出席頂いた全員の方からご意見やご指摘を頂いている。指摘事項によっては次回に改善した内容を報告している                  |      |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 運営推進会議に市の高齢介護課、地域包括支援センター、消防署等に出席して頂き、各方面からの提言や助言を受けている。また、大垣市ケアマネ情報交換会にも積極的に参加し意見交換等を行っている。さらに認定更新の機会に市へ利用者の暮らしぶり等を伝え連携を深めている。                    |      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束の認識や共有の勉強会を毎月の職員会議でテーマを設け実施している。玄関は国道に面している立地条件から外からは自動オープンに内側からは番号ロックしている。外出希望の強い人には出来る限り、外気に触れて頂いたり、散歩にお誘いしたりして、安全面に配慮しながら自由な暮らしを支えるようにしている。 |      |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 勉強会を実施し、見過ごされてしまいそうな虐待についても話し合い職員の共通認識を高めている。福祉相談センター主催の研修会にもなるべく全員が行けるようにしている。入浴時には身体の観察をすることで 見過ごすことのないように努めている                                  |      |                   |

グループホーム江並「福寿苑」

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|-----|--|---|------|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 福祉相談センターの研修会に出来るだけ多くの職員が参加できるようにしている。また 独居で子供さんがおられない、ご遠方の兄妹の方にもご利用者様の相談に対応している   |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時には事業所のケアに対する姿勢を説明し了承を得ている。重度化や見取りについての対応方針、医療連携体制や料金体制、また契約解除に至る対応等、そしてその後の支援にも納得が得られるようお話ししている。                                 |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | ご家族には手紙、江並新聞、訪問時、運営推進会議等で常に語りかけ、何でも言って貰えるような雰囲気づくりに留意している。意見、要望等は職員会議で話し合い反映している。また、独自のアンケートを毎年実施し、その結果についても前向きに受け止め職員全員で活かす様にしている。 |      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 職員会議や、朝のミーティング、個別面談で意見交換を行う機会を多くしている。日頃からコミュニケーションを図るよう心掛け、問いかけたり、聞き出したりするようにしている。特にご利用者へのダメージを最小にするための配慮をしている。                     |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員の日頃の体調や家庭環境に充分配慮し、働きやすい勤務状況を創設している。そんな中で職員のモチベーションが保たれるよう研修機会を全員に案内し、学べる環境づくりに努めている。  |      |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 年間の研修計画を作成し、一人 I 研修を基本に個々の状況に応じた広範囲な研修機会を作り出している。復命書の提出と共に、職員会議で伝達講習も実施している。また研修報告書を全職員が閲覧できるようにしている。                               |      |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 会社内の他の施設の全体職員の講習会や交流会を積極的に行い、グループとしての介護サービスの質の向上に努めている。さらに他の施設への実践交流会を行い、交流を通じて一緒に学んだり親睦を深めたりするようにしている。                             |      |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------|-----|--|--|------|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |      |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 事前の面談などで、ご本人やご家族から、これまでの生活状況や今後の生活に対する思いを充分にお聞きをし、安心と安全に暮らして頂ける環境になるよう努めている。   |      |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | これまでのご家族の苦労やこれまでのサービスの利用状況、経緯について、ゆっくり話を聞くようにしている。話を聞く事で、ご家族が求めている事を理解し、事業所としてどのような対応が出来るか事前に話し合いをしている。                          |      |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 事前相談等でご本人、ご家族の思いや状況を確認し、改善に向けた支援の提案及び相談を繰り返し、信頼関係を得るよう努力している。その中で何が必要かを見極めながら事業所として出来る限りの対応に努めている。                               |      |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 職員は人生の先輩であるご利用者に色々な事を学ばせて頂いたり、励ましを頂いたりして、働く者として元気や意欲に繋がっている。お互いが協働しながら穏やかな生活ができるように場面づくりや声掛けをしている。                               |      |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 日々の状況をご家族に繰り返しお話し、情報共有に努め、ご本人と一緒に支えるためにご家族と同じような思いで支援しながら信頼関係をより深く築けるようにしている。  |      |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | ご利用者様が長い間培ってこられた暮らし方や、こだわりや大切なもの、人間関係を何時までも保ち続けられるよう、また、季節ごとのイベントや運営推進会議後のご家族を含めた食事会やお茶会等の機会を多く持ち、多くの参加を呼びかけ継続的な交流が出来るよう働きかけている。 |      |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 個別に話を聞いたり、相談に乗ったり、みんなで楽しく過ごす時間の場面づくりをするなど、利用者同士の関係がうまくいこう良き調整役になれるよう、職員間で情報共有し注意深く見守るようにしている。                                    |      |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | これまで施設で過ごされた、ご利用者様の生活リズムの情報を詳細に提供し、他施設や病院等へ転院されても、混乱が軽減できるようにきめ細かい連携を心掛けている。                                     |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |      |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日々の関わりの中で言動、行動、表情などから、その真意を推し量ったり、それと無く確認するようにしている。意思疎通が困難な方には、ご家族に情報を得るようにしている。                                 |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご本人の今までを知るために、ご家族や連携施設に協力して頂き、情報把握に努めている。必要な時はご家族の了解を得て、面会に来られる知人、友人にも情報収集を行っている                                 |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | ひとり一人の生活リズムを理解すると共に、行動や小さな動作から、ご本人の全体像を把握している。出来ない事より出来る喜びを共有できるような働きかけに努めている。                                   |      |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人とご家族には日頃の関わりの中で、思いや意見を聞きケアに反映している。また、月一回の職員会議で活発な意見交換やモニタリング、カンファレンスを行う、そのケアプランはご本人ご家族の思いの代弁書と捉え介護計画に盛り込んでいる。 |      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個別ファイルに食事、水分量、排泄等身体的状況及び日々の暮らしの様子やエピソード等を記録し、職員間の情報共有を徹底すると共に、介護計画を見直す事で評価し、次のケアにつなげている。                         |      |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | ご本人やご家族の状況に応じて、通院の送迎、衣類や介護用品の購入、また行政等への申請に関する助言など、個々のニーズに柔軟に対応し、満足度を高めるように努めている。                                 |      |                   |

グループホーム江並「福寿苑」

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|--|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | ご利用者が安心して地域で暮らしを続けられるよう、市役所、警察所交番、消防署、福祉施設、小学校、保育園、自治会等、地域の資源を活用できるよう運営推進会議等を通じて意見交換する機会を設けている。                      |      |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 事業所のかかりつけ医のほか、利用前からのかかりつけ医で受診できるよう、また基本的には家族同行の受診となっているが、不可能の場合は職員がご家族の同意を得て代行している。その場合診療の様子や変化をご家族に必ず報告している。        |      |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 看護職員を配置しており、常にご利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。看護職員のいない時間は介護職員が小さな変化も見逃さず、看護職員と確実な連携の基、適切な医療やケアを受けられるようにしている。         |      |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院によるダメージを極力防ぐため、状況に応じて看護職員が見舞いに行き医師と話し、事業所内での対応可能な段階でなるべく早く退院出来るようアプローチしている。ご家族とも情報交換し、速やかな退院支援に結び付けている。            |      |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | ご本人やご家族の意向を早い段階から話し合い、看取り介護に関する指針のもと、ご家族、医師、看護師との連携を密にしながら、状態の変化があるごとに、ご家族の気持ちの変化やご本人の思いに注意を払いながら、チームで支援に繋げるようにしている。 |      |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 職員の緊急時の対応についてのマニュアル、応急措置や救急車が来るまでに準備する事等についての勉強会を実施し、落ち着いて対応できるよう周知徹底を図っている。   |      |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 消防計画により、年に二回、昼間と夜間を想定した避難訓練、消火訓練、非常召集訓練を大垣消防署の監修のもと実施している。また、運営推進会議等で、ご家族、自治会にいざとなった時に直に駆けつけて頂くような協力体制の話し合いを進めている。   |      |                   |



| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |      |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 人生の先輩であるという共通認識の基、ご利用者の誇りや大切にされていること、プライバシーを損ねない対応についてなど、職員会議やミーティングの折に徹底を図っている。                                     |      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | ご利用者に合わせて声を掛け、意思表示が困難な方にはメモを使ったり、些細な事でも表情から気持ちを汲み取るように努力をしている。押しつけることなく複数の選択肢を提案し、ご利用者が自分で決める場面を作っている。               |      |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な一日は決まっているが、一人ひとりの体調に配慮しながら、自分のペースで生活出来るよう支援している。また、洗濯物の干しやたたみ等、数名の方にお手伝い頂いたり、さらに、ご利用者のリクエストで近くの喫茶店や散歩などにも対応している。 |      |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 個々の好みや季節に合ったおしゃれを楽しんでいただけるよう、ご家族に衣類の補充をお願いしている。ご本人のご希望に添えるよう意向を聞きながら、職員が髪のカットをし、その人らしさを保てるよう支援している。                  |      |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 旬の食材や新鮮なものを大垣公設市場より直接採り入れ、個々の好みや苦手なものを踏まえたメニューを工夫し、食事を楽しんで頂けるよう献立づくりをしている。また、後片付けなど体調に合ったお仕事を職員と会話を楽しみながら手伝って頂いている。  |      |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 食事、水分の摂取量、栄養のバランスについて確認し、捕食が必要な方には、その時々に合わせてお出ししている。食事形態にも考慮し、職員の手作りの食事を召し上がって頂くよう努めている。                             |      |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 食事やおやつ後に歯磨きやうがい等の口腔ケアを行っている。ご自分で出来る方は必要品の準備と声掛けを、困難な方には義歯洗浄や口腔ケア用スポンジを使用して清潔保持ができるようにしている。                           |      |                   |

グループホーム江並「福寿苑」

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|--|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 個々の排泄パターン、排泄状況を把握し、小さなサインでも見逃さないようにし、昼間はなるべくトイレで排泄出来るよう支援している。その方に合ったオムツやパットを選択し使用して頂いている。夜間のオムツ交換は21時0時3時に行っている。                          |      |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 排泄状況、活動状況、摂取状況を把握し少しでも自然な排便があるように働きかけている。便秘の方には牛乳やヨーグルト等で十分な水分補給と食物繊維の多く含まれている物を食べて頂くよう工夫している。   |      |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | ご本人のその日の気分や体調に合わせて入浴にお誘いしている。入浴が職員とのコミュニケーションの場となるよう、穏やかな雰囲気を入浴して頂くよう心掛けている。また、入浴を拒む人には、声掛けや対応の工夫などチームプレイによって一人ひとりに合った入浴支援をしている。           |      |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 日中と活動のバランスに気をつけ、ご本人のタイミングで安心して就寝できるようチームで配慮している。希望があれば好みの寝具を持って来て頂き安眠に繋げている。   |      |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 内服している薬剤について職員が周知するよう内服薬の説明書を掲示している。また薬剤の変更等があった時はミーティング及び申し送り書に記載し、誤薬のないよう周知徹底を図っている。   |      |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 一人ひとり利用者様に合わせて日常生活の中で洗濯物をたたんで頂いたり、食事の後片付けを手伝って頂いたり、出来る事を見つけて本人様のできる力を発揮できるように声掛け参加して頂くようにしている  |      |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天気やご本人の気分希望に応じて、季節を肌で感じてもらえるよう、また、心身の活性につながるよう、近くの喫茶店やマクドナルド行き、珍しい飲み物や食べ物に挑戦して頂いている。さらに、保育園の運動会や地元神社の夏祭りなどの招待によって多くの皆さんが遊びに行けるようにサポートしている。 |      |                   |

グループホーム江並「福寿苑」

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|--|--|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 金銭の所持は、色々混乱を招くことがあるため希望があれば買い物に一緒に出かけたりして事業所内で管理させて頂き ご家族にも了承していただいている。  |      |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | ご家族や友人に電話しやすい雰囲気づくりや電話を架けるお手伝いをしている。また、電話される時は他の利用者に会話が聞こえないように場所等に配慮している。   |      |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関やリビングに生活感や季節感を取り入れるようにしている。リビングには畳の場所やソファを配置し、ご利用者が快適に過ぎて頂けるよう環境づくりに心掛けている。居室には家具の配置や飾り付けなどは、ご利用者様と一緒に考えて自分が住んでる家だという意識を高めてもらうようにしている。 |      |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | リビング内に2~3人掛けのソファを配置し、一人でゆったりして頂いたり、仲のよい利用者同士でくつろげるスペースに配慮している。大型加湿器を導入し、空調管理にも配慮している。  |      |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | ご利用者の好みや馴染みのものを自宅より持参していただき 本人様の意見を取り入れ 生活スタイルに合わせて配置出来るようにしている。また、職員が居室に入室するときは ノック及び声掛けをするようにしてプライバシーを大切に心掛けている                        |      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 施設内は 利用者様が出来る限り ご自分で移動できるように 環境整備に心がけ 隣のユニットにも 自由に行き来できるように 見守っている   |      |                   |